

目指すべき区の将来像の検討

1 審議会のグループディスカッションのまとめ

2月17日開催の第9回審議会では、審議会委員を3つのグループに分け、区の将来像などについて、事務局案（ともに築く みんなの笑顔の花が咲く みどり豊かなまち 目黒）をたたき台としてグループディスカッションを行いました。その概要は次のとおりです。（詳細は、実施報告を参照）

A	<p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的に長く、もう少し簡潔にまとめるべき。 ・「笑顔の花」という言葉が抽象的で分かりにくい。 ・「みどり」や「住まい」のイメージが強すぎる。 ・現状の話となっていて、20年後のビジョンになっていない。 ・書き出しが前回と似ており、方法論から始まっている。 <p>【キーワードの提案】</p> <p>「誰もが暮らしやすい」「にぎわい」「心豊かな」「あこがれられるまち」 「多様性」「輝き」「自分らしく暮らせる」「個性が生きる」</p>
B	<p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的に長い。（キーワードが盛り込まれすぎで、インパクトに欠ける） ・全体のバランスが悪く、理解しづらい。 ・「みどり豊かな」に偏りすぎている。 ・「住みやすいまち」「住みたいまち」として一定の評価はあるが、「住み続けられる」「他の地域からあこがれられる」にはどのようなまちになるべきか。 ・目黒区の特徴であるコミュニティとの融合という視点も必要。 <p>【キーワードの提案】</p> <p>「笑顔あふれる心豊かなまち」「ゆったりと心和むまち」「人にやさしく あこがれのまち」</p>
C	<p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ともに築く」という行政主導のイメージでなく、区民みんなでつくるイメージに。 ・「笑顔」は強要されるものではない。「命が大切にされる」の方が望ましい。 ・抽象的な表現でなく、具体的な言葉を入れるべき。「人権」の概念を入れるべきではないか。 ・「みどり」と「花」が意味合いとして重複している。目黒らしさという点では「桜」にしてはどうか。 ・全体として「目黒らしさ」がなく、どこにでも当てはまる言葉である。 ・子どもも共有できるように、もっと短く、分かりやすいものにしたい。

	<p>【キーワードの提案】</p> <p>「都会だけどふるさと」「文化都市」「古き良きめぐろ」「価値が交差するまち」</p> <p>「命が大切にされる」「人権」「桜」</p>
追加	<ul style="list-style-type: none"> ・わたしの目黒 みんなの目黒 ころゆたかに生きるまち ・誰もが 安心して暮らせるまち 目黒

★ 各グループの意見、提案から見えてくる「まちの将来像」に関するキーワードをまとめると、概ね次のようなものと思います。

- ・誰もが暮らしやすいまち
- ・心豊かなまち、心和むまち
- ・あこがれのまち
- ・桜
- ・多様性
- ・人権
- ・ふるさと

2 職員自主研修グループ「めぐろ2040」からの提案の概要

若手職員の自主研修グループでは、3班でそれぞれ「目黒区の20年後の将来像とそれを実現するための10年間の取組」を課題とし、提案の検討を進めています。審議会で報告された概要は、次のとおりです。

A	<p>「めぐりめぐってめぐろ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある街を形成するには、やっぱり人。めぐりめぐって「やっぱり目黒がいい」と思えるような魅力ある街へ。 ・めぐりめぐって「住みたいまち」「訪れたいまち」「働きたいまち」を目指す。 ・住みやすさは目黒区の「価値」。自分の子どもにも住んでほしいまちを目指し、将来の人口増加を目指す。 ・目黒川や桜並木のにぎわいも目黒区の「価値」で、にぎわいは「住みたい」という動機につながる。住環境に配慮してにぎわいを創出し、区内を巡り、また訪れたいようなまちを目指す。 ・職員が生き生きと働ける環境が区民サービスの向上につながり、「住みやすさ」にもつながる。職員が「やっぱり目黒で働きたい」と、それ以外の人々が「目黒で働いてみたい」と思える区役所を目指す。
B	<p>「わたしは、このまち“めぐろ”と一緒に生きていく。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実現に向けたコンセプトワードは「CHIE（知恵）」。これは4つのキーワード「つながり」「あたたかみ」「革新」「環境」の英語の頭文字からなる。 ・将来像を支える柱を表す言葉は次のとおり。 <p>(つながり) ひととひとがつながりステキに暮らす</p> <p>(あたたかみ) 個性がきらめきあたたかみを感じる</p> <p>(革新) 既存概念を覆し、革新を続ける</p> <p>(環境) “グリーンスローライフ”を満喫する。</p>
C	<ul style="list-style-type: none"> ・目指す7つの将来像 <p>①いつまでも元気でいられる、活力あふれるまち</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ②社会や地域との繋がりを感じ、生きがいを持って暮らせるまち ③一人ひとりの生き方が尊重され、誰もが自分らしく生きられるまち ④安心して暮らせる災害に強いまち ⑤共に助け合い、豊かな心を育むまち ⑥誰もが役割を持ち、互いに助け合えるまち ⑦区民と共に創る、安全安心を持続でき、「らしさ」があふれるまち <p>・将来像を実現するための取組の3つの視点 「ボランティア」「テクノロジー」「都市環境」</p>
--	---

★ 3つの提案から見えてくる「まちの将来像」に関するキーワードをまとめると、概ね次のようなものと思います。

- ・住みたいまち ・住みやすい、暮らしやすいまち ・地域のつながり
- ・自分らしさ、個性 ・革新（イノベーション）

3 「目黒らしさ」について

目黒の地域の歴史的な成り立ちや区内の現状、区民意識調査等から目黒区の特徴、目黒らしさを導き出します。

【歴史と現状】

歴史	<ul style="list-style-type: none"> ・目黒は古代の時代の遺跡もあり、古くから「人が暮らすまち」であった。 ・平安時代には、大鳥神社、目黒不動（滝泉寺）、円融寺（法華寺）が創建され、これらの神社を中心とした地域の開発、文化の発達が進んだ。 ・江戸中心の近郊に位置する目黒地域は、江戸の消費を賄う野菜の供給地として、また、目黒不動や碑文谷仁王尊（円融寺）を中心とする庶民の信仰・行楽地として栄えた。 ・大正末期までは、区内産業は農業が中心だったが、昭和の初めには住宅地・工場敷地としての需要が増加し、宅地化が進んでいった。区内農業は衰退し、代わって中小規模の商工業が発達していった。 ・鉄道の開通に伴って沿線に学校誘致が進み、学校という文化的施設があることにより、高級住宅地のイメージが出て、地域の価値を高めるなどの効果があったとされる。
人口動態	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年2万人を超える人口移動があり、近年は転入超過が続いている。 ・出生数は微増であり、出生・死亡の自然増減は増加が続いている。 ・転入者は20代が中心（5千人程度）であり、30代後半からは、転出入がほぼ同数か、転出がやや上回ることもある。
就業者	<ul style="list-style-type: none"> ・就業する区民は11万9千人。そのうち、区内での従業の割合は26%。
産業	<ul style="list-style-type: none"> ・区内産業は、卸売業・小売業が最も多く、宿泊業・飲食サービス業が2番目に多い。事業所の規模は、従業者30人未満が94%を占める。

	<ul style="list-style-type: none"> ・区内の製造業は、平成15年と平成27年とを比較すると半減している。
街並み	<ul style="list-style-type: none"> ・寺社仏閣等の歴史的資源や変化に富んだ地形、河川、みどり等の自然が現在の街の基礎となっている。 ・幹線道路沿いの業務・商業地化や集合住宅化が進む地域、落ち着いた住宅地やにぎわいのある商業地などが混在している。 ・多様な景観の地域が、既に良好な景観を形成し、中目黒や自由が丘など「おしゃれなまち」として地域イメージが明確になっている地域もある。

【区民アンケートの意見抜粋】

現在の目黒区のイメージ	<ul style="list-style-type: none"> ①便利なまち ②治安が良いまち ③緑などの自然が多いまち ④にぎわいがあるまち ⑤景観が良いまち ⑥健康に暮らせるまち ⑦文化あふれるまち
期待する将来像	<ul style="list-style-type: none"> ①治安が良いまち ②高齢者や障害者にやさしいまち ③健康に暮らせるまち ④福祉が充実したまち ⑤災害に強いまち ⑥子育てしやすいまち ⑦緑などの自然が多いまち
まちの魅力と感ずる場所や雰囲気	<p>「目黒川」「桜並木」「さんま祭り」「飲食店が充実」</p> <p>「おしゃれな店が多い」「便利でありながら静かで住みやすい」</p> <p>「近隣住民とのつながりがある」「公園や緑が多い」</p> <p>「学校や医療施設が多い」</p>

【小・中学生・高校生の意見抜粋】

自慢したいこと	<p>「学校や公共施設、図書館が充実」「地域行事・交流が盛ん」</p> <p>「安全・安心なまち」「医療機関が近い」</p> <p>「おしゃれな店・飲食店が多い」「平和である」</p> <p>「目黒川の桜がきれい」「公園や緑が多い」</p>
期待する将来像	<p>「いじめがない」「子どもも地域みんなの仲が良いまち」</p> <p>「暮らしやすいまち」「困っている人を支え合えるまち」</p> <p>「個性・多様性の尊重」「きれいなまち」</p>
優先して取り組みたいこと	<p>「いじめ対策」「学校設備の改修」「地域交流・あいさつ運動」</p> <p>「安全安心・暮らしやすいまちづくり」「平和なまちづくり」</p> <p>「外国人との交流」「環境美化・温暖化対策」「自然を豊かにする」</p>

★これらのことから見えてくる「目黒らしさ」のキーワードをまとめると、概ね次のようなものと思います。

- ・目黒川 ・桜、桜並木 ・落ち着きとにぎわいが共存する
- ・地域のつながり ・緑などの自然が多い ・おしゃれなまち ・便利
- ・治安が良い ・多様な景観、街並み ・人が暮らし、集うまち

4 「目指すべき将来像」の検討

1～3で抽出したキーワードを元に将来像を検討します。検討に当たっては、「分かりやすさ」「簡潔さ」「目黒らしさ」の視点を重視します。

まちの将来像	目黒らしさ	その他のワード
<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが暮らしやすいまち ・住みやすいまち ・住みたいまち ・あこがれのまち ・心豊かなまち ・心和むまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・目黒川、桜 ・多様性 ・地域のつながり ・緑などの自然が多い ・便利 ・治安が良い ・人が暮らし、集うまち ・おしゃれなまち ・落ち着きとにぎわいが共存するまち 	<ul style="list-style-type: none"> ・人権 ・ふるさと ・革新（イノベーション） ・自分らしさ、個性

【最終案の考え】

- ・様々なご意見をいただきましたが、多くの意見が「暮らしやすさ」「住みやすさ」という視点から出されたものと考えます。
- ・その他にも「あこがれ」や「心豊か」などの言葉が挙がりましたが、短く、端的に分かりやすく表すというご指摘も重要です。
- ・そこで、「住みやすい」＝「便利」「治安が良い」「多様」「落ち着きとにぎわいがある」＝「全ての人にとって心地よく過ごせる」というイメージで「心地よいまち」をキーワードにしました。
- ・また、目黒らしさを象徴する言葉も様々ありますが、区民意識調査の結果などを見ると、桜やみどりが多く挙げられており、目黒の良好な景観・環境を表す言葉としてもふさわしいものと考えます。